

奈良県の建設工事等入札契約制度についての調査（アンケート）

平素は本県行政の推進に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

奈良県における入札契約制度について、奈良県内に本店又は契約締結権限のある営業所を有する競争入札参加資格有資格業者の方から幅広く意見を伺うための調査（以下「アンケート」といいます。）を実施しますので、ご回答いただきますようお願いいたします。

ご回答いただいた内容については、入札契約制度における現状の把握・分析、資料作成等に使用するものであり、それ以外の目的では使用いたしません。また、企業や個人を特定することはありません。

アンケート実施期間：令和7年11月12日～12月11日

設問数：54問

アンケートは、奈良スーパーアプリ（下記QRコードからアクセス可能）で回答いただくか、別紙に記入のうえ、奈良県内の各土木事務所の窓口にご提出ください。また、アンケートの内容にご質問等がある場合は、下記担当所属までご連絡ください。

ご多忙の折とは存じますが、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。



【問1～6、9～27に関するお問い合わせ】

県土マネジメント部 建設産業課

TEL：0742-27-7425（直通）

【問7～8、28～54に関するお問い合わせ】

県土マネジメント部 技術管理課

TEL：0742-27-7608（直通）

【注意事項】

※アンケート回答の基準日は、回答日時点としてください。

※アンケートの回答区分は、以下のとおりです。

【建設工事・委託業務】の標記がある設問は、**全ての事業者**が対象。

【建設工事】の標記がある設問は、**建設工事の全事業者**が対象。

【建設工事①】の標記がある設問は、「**土木一式**」で格付**A1、A、B**の事業者のみ。

【建設工事②】の標記がある設問は、「**舗装**」で格付**A、B**の事業者のみ。

【建設工事③】の標記がある設問は、「**建築一式**」で格付**A**の事業者および**問3の**

①建設工事でその他の業種を選択された事業者が対象。

複数の回答区分に該当する場合は、**建設工事①→②→③**の順に優先した観点から回答してください。

※設問に**複数選択可の記載がない場合**、いずれか1つを選択してください。

1. 貴社についてお答えください。

【建設工事・委託業務】

問1. 事業者区分について教えてください。

県内本店（奈良県内に本店がある場合）

県内営業所（奈良県内に本店はないが、契約締結権限を委任している
営業所がある場合）

【建設工事・委託業務】

問2. 問1で回答いただいた本店又は営業所は、どの土木事務所管内に所在しますか。

奈良土木事務所

郡山土木事務所

高田土木事務所

中和土木事務所

宇陀土木事務所

吉野土木事務所

五條土木事務所

【建設工事・委託業務】

問3. 競争入札参加資格及び格付を教えてください（複数選択可）

①建設工事

土木一式（A1・A・B・C・D・県内営業所）いずれかに○を付けてください

建築一式（A・B・C・D・県内営業所）いずれかに○を付けてください

舗装（A・B・C・県内営業所）いずれかに○を付けてください

その他（ ）※業種名を記入してください。

②建設工事関連の委託

建設コンサルタント

測量（A 1・A・B・県内営業所）いずれかに○を付けてください

地質調査

建築設計

補償コンサルタント

その他（※具体の業種記述は不要）

【建設工事・委託業務】

問4. 従業者数を教えてください。

1～4人

5～9人

10～19人

20～49人

50人以上

【建設工事・委託業務】

問5. 問4の従業者数のうち、建設工事の場合は経営事項審査の技術職員名簿に記載のある技術者の人数を、委託業務の場合は国家資格等の資格保有者の人数を教えてください。

1～4人

5～9人

10～14人

15～19人

20人以上

【建設工事・委託業務】

問6. 問4の従業者数のうち、建設工事の場合は経営事項審査の技術職員名簿に記載のない技術者及び現場作業に従事する従業者を、委託業務の場合は資格未保有で作業に従事する従業者の人数を教えてください。

1～4人

5～9人

10～14人

15～19人

20人以上

【建設工事】

問7. 自社で保有する建設機械を全て教えてください。(複数選択可)

- バックホウ
- ダンプトラック
- ブルドーザー
- トラクターショベル
- アスファルトフィニッシャー
- ロードローラー
- タイヤローラー
- 削孔機、ボーリングマシン
- モルタル吹付機、モルタルコンクリート吹付機

【建設工事】

問8. 現時点で1年以上の長期リース契約がある建設機械の保有状況を全て教えてください。(複数選択可)

- バックホウ
- ダンプトラック
- ブルドーザー
- トラクターショベル
- アスファルトフィニッシャー
- ロードローラー
- タイヤローラー
- 削孔機、ボーリングマシン
- モルタル吹付機、モルタルコンクリート吹付機

【建設工事・委託業務】

問9. 過去5年間の受注実績における、受注金額の合計が多い発注者上位2つを教えてください(2つまで選択可)。

- 国
- 奈良県
- 奈良県以外の都道府県
- 奈良県内の市町村
- 民間
- なし
- その他 ()

【建設工事・委託業務】

問10. 貴社は奈良県が実施する入札のうち、どの方式(一般競争入札・指名競争入札ともに)に参加されましたか。

- 価格競争入札方式
- 総合評価落札方式
- 両方(価格競争入札方式・総合評価落札方式)
- 参加していない

【建設工事①～③】

問13. 問12の総合評価落札方式における低入札価格調査基準価格を事後公表としたことについて、どのように感じていますか。

- 非常に効果があった。
- ある程度効果があった。
- 効果は感じない。
- 問題が増えた。
- その他 ()

3. 建設工事（総合評価落札方式以外）・委託業務の入札における「低入札価格調査基準価格又は最低制限価格」の公表時期（以下の表の着色部分）について検討しています。貴社の考えをお聴かせください。

現行制度	建設工事		建設工事関連委託
	総合評価落札方式	左記以外	
予定価格	事前公表	事前公表	事前公表
最低制限価格	事前公表	事前公表	事前公表
低入札価格調査基準価格	事後公表	事前公表	事前公表

【建設工事・委託業務】

問14. 「低入札価格調査基準価格又は最低制限価格」の事後公表について、どのように思われますか。

- 非常に賛成
- どちらかと言えば賛成
- どちらとも言えない。
- あまり賛成できない。
- 全く賛成できない。

【建設工事・委託業務】

問15. 問14で「非常に賛成」又は「どちらかと言えば賛成」とされた理由をお答えください（複数選択可）。

- 自主的な価格設定がしやすくなる。
- 競争が活発になり、技術や品質で差別化を図る余地が増える。
- 利益を確保しやすく、安定した経営計画が立てやすくなる。
- 入札価格の幅が広がる。
- 入札価格の適正化が進むことで、業界全体の健全な競争環境づくりに貢献できる。

【建設工事・委託業務】

問16. 問14で「あまり賛成できない。」又は「全く賛成できない。」とされた理由お答えください（複数選択可）。

- 違算や入札中止が増える懸念がある。
- 価格予見性の低下による入札の不調不落の懸念がある。
- 企業の経営規模や経験によっては対応が難しくなる恐れがある。
- 見積もり負担やリスクが増加し、業務負担が重くなる。
- その他（ ）

【建設工事・委託業務】

問17. 「低入札価格調査基準価格又は最低制限価格」が事後公表の場合、積算作業や価格設定に関する業務負担はどう変化すると考えられますか。

- 特に大きな変化はないと思う。
- 現在より多少負担が増えると思う。
- 精度や判断力がより求められ、かなり負担が増えると思う。
- 時間や人員の確保がさらに難しくなり、業務への影響が大きくなると思う。
- その他（ ）

【建設工事・委託業務】

問18. 「低入札価格調査基準価格又は最低制限価格」が事後公表の場合、要件として重視することは何ですか（複数選択可）。

- 県の積算の正確性
- 自社の積算能力の向上
- 公正な競争環境の維持・強化
- その他（ ）

4. 建設工事及び委託業務の入札における「予定価格」の公表時期（以下の表の着色部分）について検討しています。貴社の考えをお聴かせください。

現行制度	建設工事		建設工事関連委託
	総合評価落札方式	左記以外	
予定価格	事前公表	事前公表	事前公表
最低制限価格	事前公表	事前公表	事前公表
低入札価格調査基準価格	事後公表	事前公表	事前公表

その他（ ）

【建設工事・委託業務】

問23. 「予定価格」の事後公表の場合、要件として重視することは何ですか。

- 県の積算の正確性
- 自社の積算能力の向上
- 公正な競争環境の維持・強化
- その他（ ）

【建設工事①】

問24. 入札締切後に発注者が再積算する措置についてどのように思われますか。

- 非常に効果的だと思う。
- ある程度効果があると思う。
- 効果はあまり感じない。
- 問題があると思う。
- その他（ ）

【建設工事①】

問25. 問24で「非常に効果的だと思う。」又は「ある程度効果があると思う。」と回答された理由をお答えください（複数回答可）。

- 入札手続きの透明性が確保される。
- さぐり行為等の不当行為の抑制につながる。
- 落札価格が実勢価格に近づく。
- その他（ ）

【建設工事①】

問26. 問24で「効果はあまり感じない。」又は「問題があると思う。」と回答された理由をお答えください（複数回答可）。

- 再積算誤りによる入札中止が増加していると感じる。
- 発注者の対応に不透明感があり、業者側の信頼が低下している。
- その他（ ）

【建設工事・委託業務】

問27. 予定価格・低入札価格調査基準価格・最低制限価格の公表時期について、どのように考えますか。

- 全ての建設工事・委託業務について、一括して事後公表へ移行すべき。

【建設工事①～③】

問30. 問28で「少し増加した」又は「増加した」とした理由をお答えください。(複数選択可)

- 企業実績や技術者情報を常に最新の状態に更新・管理する手間が増えた
- ISO 認証取得等の企業の取組にかかる経費が増加した
- より高い工事成績評定点や表彰等を得るために、工事の品質を向上させる労力が増加した
- 制度を理解するための負担が増えた
- その他 ()

【建設工事①～③】

問31. 企業の実績や技術者の能力を評価する企業・技術者評価型は、企業の総合的な技術力を適切に評価できていると思いますか。

- 適切に評価できている
- ある程度適切に評価できている
- どちらともいえない
- あまり適切に評価できていない
- 全く適切に評価できていない

【建設工事①～③】

問32. 問31で「適切に評価できている」又は「ある程度適切に評価できている」とした理由をお答えください。(複数選択可)

- 工事成績評定点等の過去の工事实績が評価されるため
- 技術者の工事経験が評価されるため
- ISO の認証取得等の企業の取組が評価されるため
- 評価基準が明確で客観的に評価されるため
- その他 ()

【建設工事①～③】

問33. 問31で「あまり適切に評価できていない」又は「全く適切に評価できていない」とした理由をお答えください。(複数選択可)

- 新技術の活用や企業の持つ施工上の知見が評価されにくいいため
- 元請工事实績の少ない企業には不利であるため
- 技術力とは思わない評価項目が含まれているため
- 企業間の差がつきにくいいため
- その他 ()

【建設工事①～③】

問34. 企業・技術者評価型への移行は、貴社が入札に参加する意欲にどのような影響を与えましたか。

- 入札参加の意欲が上昇した
- 入札参加の意欲が少し上昇した
- 変わらない
- 入札参加の意欲が少し低下した
- 入札参加の意欲が低下した

【建設工事①～③】

問35. 落札者決定基準のうち、企業の「工事成績評定点」の評価対象期間について、適当と考える期間はどれですか。

- 過去1年
- 過去2年
- 過去3年
- 過去4年
- 過去5年（現状）
- その他（ ）

問36. 問35で「適当と考える期間」を選んだ理由を教えてください。（複数回答可）

- 長期間にわたる評価により、企業の安定した技術力や品質確保への継続的取組が適切に反映されると思うから
- 評価対象期間が短いと、受注実績がなく「工事成績評定点」が評価されない企業が増えるから
- 評価対象期間が長い方が、一時的な好成績や偶発的な失敗に左右されにくいと思うから
- 評価対象期間が短い方が、最近の取組や改善努力をより反映できると思うから
- 特に意見はない
- その他（ ）

【建設工事①～③】

問37. 落札者決定基準のうち、企業の「表彰」の評価対象期間について、適当と考える期間はどれですか。

- 過去1年
- 過去2年
- 過去3年

【建設工事①】

問50. 遠隔臨場は働き方改革に有効な手段だと思いますか。

- 有効である
- どちらかといえば有効である
- どちらともいえない
- あまり有効ではない
- 有効ではない

【建設工事①】

問51. 遠隔臨場の実施にあたり、課題と感ずる点があれば教えてください。(複数選択可)

- 発注者との協議に手間がかかる
- 機材の準備・片付けに手間がかかる
- 現場の状況を十分に伝えられない
- 通信環境(電波状況)が不安定な現場が多い
- 機材のリース費用が高い
- その他()

【建設工事①】

問52. 施工者希望I型は、総合評価落札方式において必要な評価型式と思いますか。

※施工者希望I型:「i-Construction」の推進のため、「3次元起工測量」、「3次元設計データ作成」、「ICT建設機械による施工」、「3次元出来形管理等の施工管理」、「3次元データの納品」の5項目の「ICT技術」の活用を評価。

- 必要である
- どちらかといえば必要である
- どちらともいえない
- あまり必要ではない
- 不要である

【建設工事①】

問53. 施工者希望I型に関して、貴社の率直な考えをお聞かせください。(複数選択可)

- ICT施工の導入・活用を進める動機づけになる
- 当該工事の生産性向上に有効である
- 当該工事の品質や安全性の向上につながる
- 建設業界全体のイメージアップや技術力向上に有効である

